

1 活用にあたって

(1) はじめに

この事例集は、2つの部分から構成されています。

一つは、「I ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりの12のポイント」です。これは、学校種や教科・科目にかかわらず、授業に取り入れると学びやすくなる授業のポイントを観点別に12の項目に整理したものです。できるだけ、写真や図、イラストを取り入れて視覚的に具体的な実践例を示しました。

もう一つは、「II ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりの実際」です。本調査研究において検証授業として実施した中から、小学校2、中学校1、高等学校2、特別支援学校2の計7件を事例として取り上げたものです。授業づくり12のポイントを各教科等の特性に応じて実際の授業の中でどのように取り入れたらいいのか示しました。

I ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりの12のポイント

1	教室環境①「場の構造化」	25
2	教室環境②「刺激への配慮」	29
3	ルールの確立	32
4	生活の見通し	37
5	授業の見通し	40
6	授業の組み立て	44
7	板書の工夫	47
8	集中・注目のさせ方	52
9	指示の出し方	56
10	参加の促進	59
11	個人差への配慮	65
12	学級モラルの形成	69

II ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりの実際


1	小学校・6学年・外国語活動「Hi friend Lesson 8 夢宣言をしよう」	73
2	小学校・6学年・算数「場合の数」	77
3	中学校・1学年・技術・家庭科「生活に役立つ小物をつくろう」	81
4	高等学校・古典「漢文：史記『項羽と劉邦』」	85
5	高等学校・体育「長距離走」	89
6	特別支援学校・小学部・教科別の指導「図画工作」	93
7	特別支援学校・高等部・「作業学習」	97

(2) 活用の仕方

I ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりの12のポイント

12のポイントの各項目は、それぞれ独立した内容で構成されているので、どこから読んでいただいても結構です。

それぞれの項目は、写真や図などの具体例のほか、以下の内容で構成されています。

1 教室環境①「場の構造化」	項目名
構造化とは、	要点と実施上のポイントが示してあります。
<ユニバーサルデザインの視点>	授業UDの7原則（長江・細渕，2005）のうち、特にどれに相当するのか示しています。
応用・発展	～特別支援学級や特別支援学校での活用例～
<特別な教育的支援を必要とする児童生徒への効果>	特別支援学級や特別支援学校での実践は、通常の学級での取組を発展させたものと考えられます。
～教室は心の鏡～	
	コラム

Ⅱ ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりの実際

各事例は、主に以下の5つの部分から構成されています。

小項目	内 容
実践の概要	ユニバーサルデザインを取り入れた意図やねらい、学級の概要（支援の必要な児童生徒の有無）など、授業の概要について記してあります。
単元（題材）について	教科・科目、単元の意図やねらいなどが記してあります。
本時の学習指導の実際	学習指導案の「展開」が示してあります。授業の中で「どこ」で「どのよう」にユニバーサルデザインを取り入れたのか記してあります。
ユニバーサルデザインの視点	「授業づくりの12のポイント」のうち具体的に何を取り入れ、どのように取り組んだのか記してあります。
成功へのポイント	ユニバーサルデザインが有効に機能するための実施上のポイントやヒントが記してあります。